



# 医療連携だより[アシスト]

# ASSIST

2014・2  
No. 31

帝京大学医学部附属病院

## 当院では 『ふたり主治医』制を推進しております。

帝京大学病院を受診される患者さんへ

患者さん1人に『2人の主治医』！！

帝京大学病院ではご近所にかかりつけ医をお持ち頂く

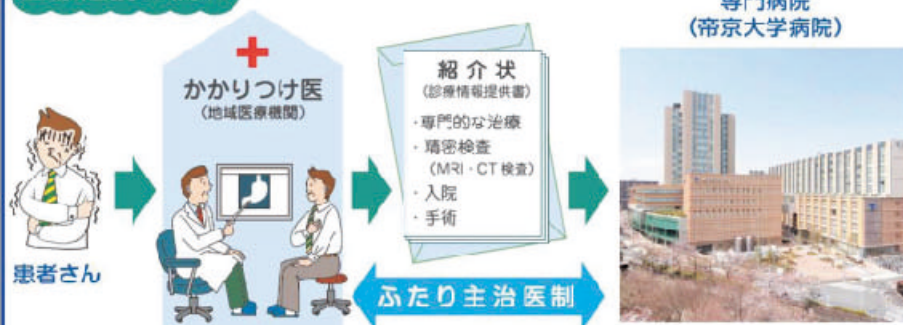
「ふたり主治医」制を推進しております

ご近所の「かかりつけ医」よりご紹介頂き専門の治療を行ないます。  
状態が安定ののちは、「かかりつけ医」で健康管理して頂きます。

患者中心の  
医療

安心安全な  
高度の医療

医療連携の流れ



ふだん患者さんの健康管理を行なっているご近所の「かかりつけ医」や密接に情報共有を行なっている「帝京大学病院医療連携登録医」などと連携し、機能分担を行なうことによって、「2人の主治医」で継続した医療を提供することを目指しています。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

医療人の  
育成

地域への  
貢献

帝京大学病院は「かかりつけ医」・「帝京大学医療連携登録医」と  
ともに患者さんを見守ります！！

- 当院は高度の医療提供を目的として厚生労働省の承認を受けた「特定機能病院」です。「救急・急性期医療」「がん医療」「高度の専門医療」を軸とした医療を推進しております。



帝京大学医学部附属病院  
病院長

患者そして家族と  
共にあゆむ医療

### Contents

- 2 腎臓と命を守るための慢性腎臓病(CKD)対策を推進していきます  
内科 病院教授 藤垣 嘉秀
- 3 狭心症・心筋梗塞に限らず、不整脈や弁膜症など他の疾患を含めて  
チームで診断・治療します 循環器内科 教授 上妻 謙
- 4 編集後記

# Internal Medicine

平成25年4月に内科学講座病院教授に就任いたしました。専門は腎臓内科です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

いま腎臓の分野では、末期腎不全（透析療法が必要）になるリスクの高い腎疾患を早く見つけ、適切な対策をすることで透析を回避・透析までの期間を延ばす取り組みが全世界的にされています。早期発見・治療が最も大切なため、腎疾患を簡単な基準「腎臓の障害（蛋白尿など）、もしくは中等度以上の腎機能低下が3ヶ月以上持続するもの」で慢性腎臓病（CKD）



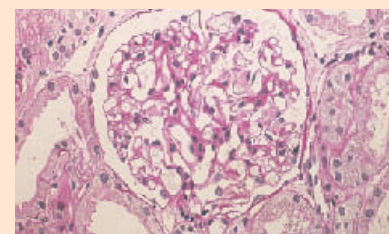
▲超音波ガイドでの針腎生検（入院にて）

## 腎臓と命を守るための慢性腎臓病（CKD）対策を推進していきます

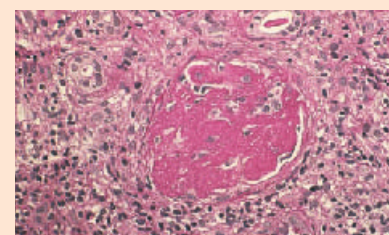
内科 病院教授  
藤垣 嘉秀

と定義しています。CKDは、心筋梗塞や脳卒中などの心血管病の危険因子でもあります。腎臓と命を守るために健康診断などを受け、検尿や腎機能に異常があれば、まず、かかりつけ医を受診して下さい。腎臓専門医が診るべき基準に該当すれば、かかりつけ医から私どもに紹介していただきます。CKDは数多く（成人8人に1人）すべてを専門医で診ることはできません。そのため治療方針が決まった後は病状によって、かかりつけ医で主に診療をしていただき、腎臓内科外来では投薬や食事内容などを適宜アドバイスすることを基本とした「2人の主治医」で診療していく方式（CKD病診連携）が大切です。

一方で、腎臓内科医が主となる腎炎などでは、腎生検で腎臓の組織を採取し診断・治療を実施します（写真）。また、残念ながら末期腎不全に至った場合は透析を必要としますが、当施設では、患者さんのライフスタイルを維持し血



▲正常腎臓の組織



▲悪化した腎臓の組織

CKDの多くは高血圧や糖尿病などの生活習慣病に根ざしています。生活習慣の改善に管理栄養士による生活栄養指導が、また、薬剤師による腎機能に見合った服薬指導や看護師の協力も医療連携としてCKD対策には欠かせません。患者さん自身の生活習慣改善への取り組みやCKDの理解のサポートのために本年からいよいよ年4回のシリーズでCKD教室を開催することに致しました。各専門家からCKDとその治療をわかり易くお話し致します。興味をお持ちの方はどなたでもご参加ください（問い合わせ先〓腎臓

### 慢性腎臓病教室のご案内

4月22日（火）17時～

※詳細はHPお知らせをご覧ください。

液透析の開始を遅らせる腹膜透析の実施が可能です。腹膜透析は、尿量が維持でき、通院は月一回というメリットもあります。

研究室、平日10時から17時、電話03（3964）1211（代表）。

帝京大学医学部附属病院腎臓内科では、当該地区でのCKD医療連携に積極的に貢献したいと考えています。患者さん及び医療関係者の皆様には、CKD対策へのご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

### PROFILE

内科 病院教授 藤垣 嘉秀

昭和59年浜松医科大学卒業。平成19年浜松医科大学第一内科講師、平成23年浜松医科大学内科学第一講座准教授、平成25年4月現職。

専門は腎炎・ネフローゼ症候群、慢性腎臓病、急性腎不全、透析療法。

日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本腎臓学会指導医、日本透析医学会指導医



# Department of Cardiology

狭心症・心筋梗塞に限らず、  
不整脈や弁膜症など他の疾患を含めて  
チームで診断・治療します

循環器内科 教授  
上妻 謙

このたび昨年10月1日付けで教授に就任しました内科学講座・循環器内科の上妻（こうづま）と申します。2001年4月に帝京大学医学部附属病院に着任して、診療、教育、研究に従事してまいりました。循環器内科は心不全、心筋梗塞・狭心症、不整脈、弁膜症、心筋症などの診療を行っており、私の得意分野は心筋梗塞・狭心症です。特にカテーテルを使って心臓の治療を行うのを専門としていますが、最近は器具の進歩で弁膜症などの病気の治療もカテーテルで行うことができるようになってきました。本年2月より、カテーテルによる大動脈弁人工弁植え込みが当院で始まり、す（図）。狭心症・心筋梗塞の治療機器も進歩しており、冠動脈ステントによる冠動脈治療は一度治療すれば2回目の治療が不要となることも多く、さらに長期間効果が持続するように、溶けてなくなるステントの開発も進んでおります。また急性心筋梗塞では血栓が

## 経皮的大動脈弁植え込み術 経大腿動脈アプローチ



バルーンによる拡張 人工弁位置決め 人工弁拡張、動き込み 術後

飛んで末梢に詰まることを抑制する道具も積極的に使用しています。狭心症・心筋梗塞に限らず、不整脈や弁膜症など他の疾患を含めて、毎朝皆で会議を行い、すべての診断・治療をチームで行っていることも申し添えておきます。帝京大学医学部附属病院では最先端の医療機器や薬剤を日本で使用できるようにするための臨床治験や医療の問題点や疑問

を解決するため、あるいは標準的な治療法を決めていくための臨床試験などを積極的に取り組んでおり、常に最新かつ世界的に標準となりうる医療を行うことを心がけています。また心臓血管外科をはじめ、他の診療科とのコミュニケーションや連携を重視しており、患者さんにとって最善の治療をすべての治療オプションから考えられるようにしています。診療科を超えた横の連携がとりやすいことは大学病院としては特筆すべき点かと思っています。

医療連携としては、近隣の医療機関との連携を重視しており、つねにかかりつけ医と情報を共有しながら医療を行うことにより、国の目指す医療機関の役割分担をはっきりさせていくことも推進しております。紹介状を持参した患者さんはまず経験豊かなスタッフが対応するように心がけ、検査・治療の後にはかかりつけ医に必ず受診するようにしており、病状などの必要に応じて、半年に1回のフォローをするなど「二人主治医制」を率先して進めています。様々なセミナー、研究会を行って顔の見

える連携を進めておりますので、ぜひセミナーや研究会にご参加いただければと思います。今後とも帝京大学医学部附属病院循環器内科をよろしく願っています。

## PROFILE

### 循環器内科 教授 上妻 謙

1991年3月東北大学医学部卒業  
1991年5月より三井記念病院内科研修医  
1993年より同院内科シニアレジデントとして主として循環器の研修  
1996年4月より三井記念病院循環器内科スタッフ  
1999年4月よりエラスムス大学トラックスセンター留学  
2001年4月より帝京大学医学部内科助手（循環器科）  
2006年4月より同医学部内科講師（循環器内科）  
2008年4月より同医学部内科准教授（循環器内科）  
2013年10月より同医学部内科教授（循環器内科）現在に至る  
日本内科学会認定総合内科専門医  
日本循環器学会認定循環器専門医  
日本心血管インターベンション治療学会専門医  
Erasmus大学PhD  
日本カーディオコア最高顧問（コアラボ組織）

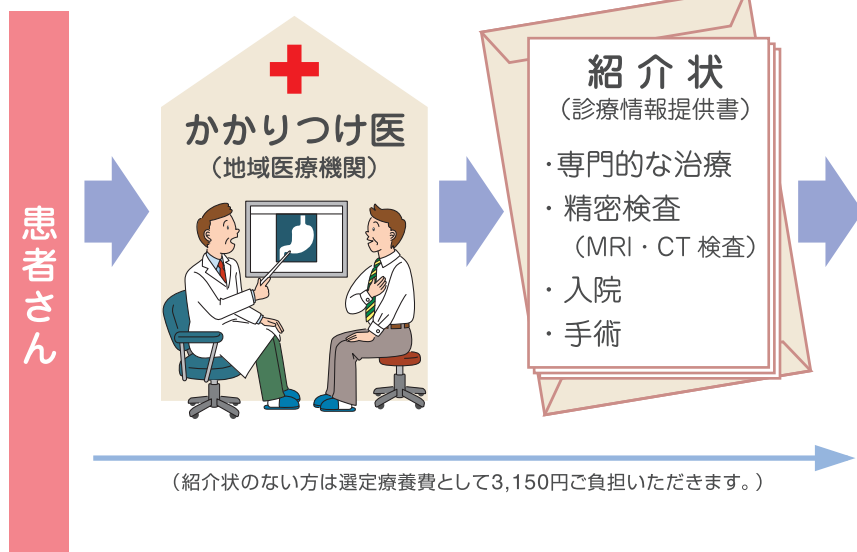


# 帝京大学病院では紹介状があれば初診でも予約※ができます。

※事前にお電話下さい

## 受診までの流れ

帝京大学病院では、かかりつけ医との機能分担をすることにより、専門的な治療(手術、入院、精密検査など)をおこないます。



帝京大学医学部附属病院  
予約専用(医療連携室)  
**03-3964-1498**

予約受付  
時間 平 日 8:30~17:00  
土曜日 8:30~12:30

## 初診受付

診療受付  
時間 平 日 (予約あり)  
8:30~14:30  
(予約なし)  
8:30~11:30  
13:00~14:30  
土曜日 8:30~11:30

## 紹介状をお持ちの患者さん

- ①予約電話(03-3964-1498)までお電話ください。  
電話予約の際にご確認させていただく項目  
(お名前、生年月日、性別、住所、電話番号など)
- ②予約完了
- ③当日は15分前までに初診受付までお越しください。

## 紹介状をお持ちでない患者さん

- ◎初診受付  
診療受付時間 平 日 8:30~11:30/13:00~14:30  
土曜日 8:30~11:30  
直接初診受付へお越しください。
- ※当日の診察状況によっては受診できない場合もございます。

## アクセスマップ



- JR埼京線  
「十条駅」より徒歩10分
  - 地下鉄都営三田線  
「板橋本町駅」より徒歩13分
  - 国際興業バス  
王子駅←→板橋駅  
「帝京大学病院前」下車  
赤羽駅西口←→王子駅  
「上十条4丁目」下車徒歩3分  
赤羽駅東口←→高円寺駅  
「姥ヶ橋」下車徒歩5分  
王子駅←→上板橋駅  
「姥ヶ橋」下車徒歩5分
  - 都営バス  
王子駅←→新宿駅西口  
「姥ヶ橋」下車徒歩5分
  - タクシー  
十条駅より基本料金内
  - 車 地下駐車場を完備  
(215台収容可能【有料】)
- ※入院手続や外来診療でお越しの方は  
100分間無料(以後25分毎100円)

## 編集後記

### 「ソチってどこだ？」

今回は冬季オリンピックで話題の「ソチ」について。ソチはロシア西南部、黒海北東海岸に面する人口約40万人の都市。ロシアの中では温暖な気候で、夏季シーズンには海水浴も楽しめるスポットとなっており、保養地として栄えております。こんな素晴らしい環境の中で熱き戦いが繰り広げられ、様々なドラマが生まれました。この機会に新たな発見をした方々もいたのではないのでしょうか？まだオリンピックの余韻が残っている中、「ソチ」を旅行してみるのも良いかもしれませんね！今年は野球でマー君が大リーグに挑戦し、6月にはサッカーの祭典「W杯」も控え、スポーツ見どころ満載の一年になりますね！！



特定機能病院  
病院機能評価Ver.6.0認定  
地域がん診療連携拠点病院  
東京都災害拠点病院  
**帝京大学医学部附属病院**  
〒173-8606 東京都板橋区加賀2-11-1  
TEL.03-3964-1211 (代表)  
<http://www.teikyo-hospital.jp/>  
お問い合わせ E-mail:renkei@med.teikyo-u.ac.jp

帝京大学病院

検索

<http://www.teikyo-hospital.jp>

医療連携だより[アシスト]

**ASSIST**

# Department of Dermatology

●スタッフの専門領域（皮膚一般に加えて）

渡辺晋一 教授

レーザー治療、皮膚真菌症、アトピー性皮膚炎

大西誉光 准教授

皮膚腫瘍

多田弥生 准教授

乾癬、膠原病

富田 学 助教

膠原病

石川武子 助手

皮膚外科

福安厚子 助手

皮膚外科

田中隆光 助手

皮膚外科



▲渡辺晋一教授

## 診療の特色

渡辺教授は、皮膚科専門医が勉強する教科書や雑誌の編集も行っており、皮膚科一般領域に広く精通していることで全国的にも有名です。その指導のもと、教室員は皮膚科全般について、世界標準の、本当のエビデンスに基づいた医療（EBM）とは何かについての教育を受け、実践しています。全員が皮膚ジェネラリストとしての誇りをもって、専門に偏ることなく、都内近隣や埼玉県からの豊富な紹介症例に対応しています。一方で、高度医療機関に属する皮膚科として、特に3つの専門外来では、専門性の高い診療も展開しています。

## 専門外来について

いずれの専門外来もまず、午前の初診外来の受診が必要です。

### レーザー外来 [月・木 午後]

渡辺教授は日本で最初にQスイッチルビーレーザー装置を東芝とともに開発し、太田母斑にレーザー治療が有効であることを初めて世界に向けて帝京から発信した（N Engl J Med 331:1745-1750, 1994）、レーザー治療のパイオニアで、外来には全国各地から多くの患者さんがいらしています。美容目的のシミのレーザー治療も自費診療にて行なっていますが、20年以上にわたる豊富な症例の蓄積を背景に、良性と悪性、レーザー効果のあるなしのシミの正確な診断を行なって、適切な治療をしています。



▲レーザー照射風景

## 皮膚外科外来 [水・木・金 午後]

国内外で皮膚外科診療のエキスパートとして有名な大原國章先生の教えをうけた3人の医師（助手）が良性、悪性腫瘍の手術・治療に積極的に取り組んでいます。また、皮膚腫瘍は正確な診断が治療方針にかかわりますが、渡辺教授、大西准教授は皮膚腫瘍診断の専門家です。この分野での症例報告も多く行なっており、帝京での豊富な症例数をもあって、当外来の専門性はさらに向上しています。



▲手術風景

## 乾癬外来 [金 午後、土 午前]

乾癬は、厚い鱗屑を伴う紅斑を特徴とし、人目につくため、患者QOLを著しく低下させている皮膚疾患です。また近年、乾癬の病態とメタボリックシンドロームとの関連性が明らかになりつつあり、重症乾癬そのものが心血管イベントのリスク因子となりえて、適切な治療により、そのリスクが低下することが注目されています。一方で生物学的製剤などの新しい治療は、従来の全身療法に抵抗性であった難治な乾癬に高い治療効果を発揮しています。乾癬外来で

は患者の重症度と生活スタイルにあった治療（外用治療、内服治療、光線療法、生物学的製剤）を提供しています。多田准教授は関節炎を伴う乾癬、膿疱性乾癬など重症型の乾癬治療経験も豊富です。お忙しい方、遠方からお越しの方のために、生物学的製剤（レミケード、ヒュミラ、ステララー）の土曜日投与にも対応させて頂いております。診断に迷う症例の確定診断もさせて頂いておりますので、お気軽にご紹介ください。

## お知らせ

光線療法は特定の皮膚疾患（乾癬、白斑、アトピー性皮膚炎、皮膚リンパ腫 etc.）に高い治療効果を示すことが知られています。特に治療効果の高い波長の紫外線を選択的に全身に照射する装置のうち、最新型であるUV7002が2014年2月に外来に導入されました。適応のある患者さんはご紹介ください。



▲UV7002

## 皮膚科の 地域医療連携への取り組み

帝京皮膚科は病院の掲げる「ふたり主治医制」の方針にのっとり、地域の皮膚科診療を開業医、臨床病院の先生方とともに支えていきたいと考えています。お困りの症例はお気軽にご紹介ください。来院時や入院時、確定診断時、治療方針確定時など、まめに経過をご報告させて頂いております。また、確定診断がつき、治療方針が定まった軽症例につきましては、積極的に逆紹介しておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

|         | 月曜日   | 火曜日   | 水曜日  | 木曜日   | 金曜日   | 土曜日   |
|---------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
| 初診医（午前） | 多田 弥生 | 渡辺 晋一 | 富田 学 | 渡辺 晋一 | 大西 誉光 | 石川 武子 |